区のおしらせ No.460

昭和51年３月20日発行 東京都千代田区役所（九段南一丁目６番11号） 電話(264)0151（大代表） 郵便番号102

町ぐるみで町を守るために
〝防災懇談会を開催〟

大地震などの災害が発生したとき、区、消防、警察などの防災機関は全力をあげて防災活動を行いますが、その活動をさまたげる様々な事態が予想されます。

こんなとき、被害を少しでも小さく、くいとめるには、住民のみなさんが出火防止、初期消火、被害者の救出救護、避難などを自ら行うことが必要となります。そして、町ぐるみで組織的に行動できれば、その効果は最大限に発揮できます。

このため防災機関では、自分たちの町は自分たちで守る「自主防災組織」を作るための手助けをしていこうということになりました。

そこで、区が主催して３月12日から各出張所区域ごとに〝防災についての懇談会〟が開かれました。懇談会では映画と講演のあと、町ぐるみで災害から守るための話合いをしました。

第一回区議会定例会 ●三月八日から開会

新年度予算案などを審議

本年第一回区議会定例会が、三月八日から二十三日間の会期で開かれ、総額百十一億六千三百万円にのぼる区の新年度予算などの議案が提案され、審議されています。

遠山区長あいさつ（要旨）

議会開会にあたり、三月八日の本会議で、遠山区長は招集のあいさつを行い、その中で、新年度予算の編成方針について、およそつぎのように述べました。

深刻な財政状況下で「区民生活を守る区政」を基本に

昭和四十八年末に始まった不況と物価高という経済情勢の下で、企業活動をはじめ経済諸活動も沈滞し、その影響を受け地方財政も深刻な支障が生じています。

そのため、国では景気回復のための諸施策を進めるとともに、一連の地方財政対策を講じていますが、特別区の財政運営に深いかかわりをもつ都財政は、昭和四十九年度から危機的状況が表面化し、昭和五十年度には一層深刻化してきました。

すなわち、都税の大幅な減収が見込まれ、五十年度の職員のベースアップの繰延べ、既定経費の節減など思いきった措置を講じているにもかかわらず、巨額の赤字が生じる見込みです。

こうした状況にある昭和五十一年度の都の予算案は、都税の伸びがわずか一・二％にとどまり、不足した財源を大幅な都債に求めています。

そこで本区の財政状況ですが、歳入の大半を占めている区税収入の昭和五十年度の決算見込みは、前年度実績額七十三億九千二百余万円を確保することが極めてむずかしい上、現在の経済情勢から五十一年度に急激な回復を期待することも非常に困難であるといわなければなりません。

さらに、区財政を大きく左右する都区財政調整についても、都の財源不足が直接影響し、昭和五十一年度は極めてきびしいものとなっています。

予算編成方針を述べる遠山区長

このような、きびしい財政状況のもとにおかれた昭和五十一年度の予算編成は、限られた財源を真に必要な行政需要に当てるため、既存の事務事業の整理統合と効率化を図り、極力区民の要望を踏まえ「区民生活を守る区政」を基本方針とし、現在の行政水準の維持に努めるとともに、つぎの五つの重点施策に基づいて行いました。

健康増進と生活環境の整備

まず、「区民生活を守る区政」の第一の柱は〝区民の健康の増進と生活環境の整備〟を図ることです。

区民の日常生活の最も基本となる健康の問題については、予防から早期発見、早期治療という一貫した保健医療体制が要請されます。

保健所の区移管に伴い、諸設備の充実を図るとともに、医師会などの協力を得て、保健医療体制の確立に努め、区民の身近な保健所としての機能を十分に果すようにしていきたいと思います。

一方、公害から区民の健康を守るため、公害測定器の整備、河川の汚濁調査などを実施する経費として四百四十余万円を計上し、安全で健康な環境を守っていきたいと考えます。

また、住民に安らぎといこいの場を提供するために、公園、児童遊園の整備改善、ミニプールの新設に努め、新たに海の家を開設します。

なお、区民各層のかねてからの要望である、いわゆる第二千代田荘の設置につきましては、間接経営方式も含めて鋭意検討を進めています。

さらに、乳幼児のために、本区では初めての零歳児保育を含む飯田橋保育園を開設し、こどもと母親の生活向上を図りました。

なお今後、区営住宅を含めた多目的施設の建設を促進するため、調査費用を計上し積極的に取組んでいきたいと思います。

教育環境の整備と青少年の健全育成

第二の柱は〝教育環境の整備と青少年の健全育成〟です。

教育環境の整備を図るため、学校諸施設、設備、教材教具の一層の充実に努めるとともに、懸案となっている練成中学校改築については、その工事費三億六千六百万円を再度計上し、鋭意促進していく考えです。

社会教育の分野においても、特に青少年の健全育成に力点を置き、あらゆる機会と場を利用して、実際の生活に即する文化的教養を高められるような環境を整備していきたいと考えます。

このためには、学校開放やスポーツ開放を積極的に進め、さらに青少年の団体サークル活動のための動機づけと育成に努めるべきと考え、社会教育施設用地買収費を確保するよう、都と交渉中です。

災害対策の一層の充実を

第三の柱は〝災害から区民を守る街づくり〟です。

区民の生命と財産を災害から守るため、特に震災ということを念頭において、災害時の被害を最小限にとどめ、区民の日常生活の中の防災思想を普及するという考え

に立ち、区民の最も身近かな施策の実現を目指しました。

具体的な内容としては、備蓄物資の整備経費千三百余万円を始め避難標識の整備経費、災害時に第一線に立って活動する消防団への助成三百余万円などを計上しました。

また、日頃から災害に対する心構えを培うことの重要性を考え、防災訓練の実施、防災思想の普及に力を注いでいきたいと思います。

しかし、このような区の施策だけで、災害から区民を守ることができないことは言うまでもありません。

特に、避難道路の整備、防災空地の確保、建物の不燃化などについて、関係防災機関に対して強く働きかけるとともに、他区とも密接な連絡、協調を図り、災害対策をより一層充実していきたいと考えています。

中小企業の経営の安定を

第四の柱は〝商工業の発展育成〟です。

本区の商工業の実態は、中小企業が極めて大きな地位を占めています。

これらの中小企業は、近年その経営の近代化、合理化に対する意欲がうかがわれますが、激変する経営環境にあって、依然として不安定な経営状態にあります。

このような観点から、中小企業の経営の安定、商品の販売拡張、金融の円滑化などの充実を実現していきたいと考えます。

具体的には、産業会館建設費一億一千九百万円を計上したのを始め、企業向け融資では、現在の経済事情を考慮し限度額の引上げを図り、六億四千三百余万円を計上しました。

また、中小企業者の組織化指導などにより、施策の推進を図っていきたいと思います。

心のかよった福祉を

第五の柱は〝老人と恵まれない人々の福祉の向上〟です。

近年、人口の高齢化が著しく老人対策の重要性が増すとともに社会的立場の弱い方など、手を差延べなければならない方々が多数おられます。

これらの方々に対するこれまでの福祉は、画一的な手当の支給や施設の整備に止まっていましたが、これからは、もっと人間らしさとのかかわりの中で、心のこもった福祉に重点を置いて、国、都、区の役割分担を明確にしながら、区としては在宅のおとしより、身心障害者に対するきめの細かい施策を推進していきたいと思います。

このような考えのもとに、従来の水準の維持向上に努めるとともに、新たに、寝たきり老人に対する理髪サービスの経費七十万余円をはじめ、心身障害者の方のために福祉電話の設置、家政婦の派遣ならびに点字ブロックの敷設経費三百余万円を計上しました。

そのほか、前年度からの継続として、区政執行の根幹となる長期総合計画の策定を進めていくため千八百余万円を計上しました。

以上が、予算編成に当っての考え方ですが、このほか、かねてより懸案となっていました補助金については、その適正化、公平化を図るよう検討し、予算案にもり込んで、その適正化を図りたいと思います。

補助金、使用料等も検討

しかし、区施設の使用料については、受益者負担の原則と住民相互間の負担の公平化を図る立場から、必要な条例改正を提案申上げたところです。

保育料についても、現在二十三区の保育問題審議会での検討をまって、その適正化を図りたいと思います。

この結果、昭和五十一年度一般会計予算の総額は、百十一億六千三百余万円となり、五十年度と比較しますと八億三千八百余万円、八・一％の増加となります。

❀ 千代田のさくらまつり ❀

4月1日⇒15日

恒例の〝千代田のさくらまつり〟が四月一日から十五日まで靖国神社、神田神社、千鳥ケ淵周辺で開かれます。

どの会場もさくらがきれいです。ご家族でお出かけになってはいかがですか。

植木市

植木、盆栽などの即売を靖国神社と神田神社の境内で行います。

靖国神社　四月一日(木)～十日(土)
神田神社　四月一日(木)～五日(月)

区内史跡めぐり（無料）

区内の代表的な史跡をバスで見学するもので、自由に参加できます。(ただし、小学生以下のひとはご遠慮ください)

とき　四月三日(土)、四日(日)、十日(土)、十一日(日)の午前十時、午後一時、三時の一日三回

靖国神社境内から出発します。

定員　毎回百名（先着順）

コース　靖国神社→市ケ谷→半蔵門→四ツ谷→清水谷公園→三宅坂→桜田門→日比谷→大手町→小川町→お茶の水→神田神社→万世橋→岩本町→駿河台→神保町→靖国神社

無料

アトラクション

靖国神社特設ステージ

四月三日(土)午後一時から、区内大学・友好団体のバンド演奏と民踊、四月四日(月)午後一時から歌謡ショー、日本舞踊、チャリティオークションが行われます。

日比谷映画街

四月二日(金)から六日(火)までの正午から午後十時まで、さくら装飾、ワゴンセール、新茶接待などが行われます。

ぼんぼり・ちょうちん装飾

さくらまつりの期間中、会場にはぼんぼりとちょうちんが飾られ、お花見の雰囲気を盛り上げます。

楽しいお花見を

紙くずやあき缶などが捨てられていては、楽しいお花見もだいなしです。みんなで気をつけて、楽しいお花見にしましょう。

風疹が流行しています

風疹について正しい知識を

最近、風疹が流行しています。千代田区の小・中学校でも、風疹による学級閉鎖が目立ちはじめています。

風疹は、俗に〝三日ばしか〟と呼ばれ、軽症の小児伝染病ですが妊婦がかかった場合には、先天異常児を生む危険があるため、近年重要視されてきています。

そこで、風疹について説明してみますので、この機会に風疹についての正しい知識を持ち、いたずらに動揺することのないようにしてください。

風疹の症状

風疹は、比較的長い潜伏期間(二～三週間)ののち発熱します。

発熱と同時に全身に淡紅色の発疹が出ますが、普通三日ぐらいで消えてしまいます。

発疹は、あせものような細い独立したものから、ジンマシンのようなものまでいろいろあります。

熱に気がつかないことや発疹もごく軽いこともあります。

全身のリンパ節、特に後頭部のリンパ節がはれるのが特徴です。

大人がかかったときには、こどもよりも症状が重く、ひざなどの関節痛を訴えることもあります。

先天異常の可能性

妊娠初期に風疹にかかると、先天異常児を生む可能性があります。

先天異常には心臓の奇形、白内障、難聴などが主な症状としてあります。

その危険率は、妊娠一か月以内の感染ならば約五〇%、妊娠三か月以内ならば約二〇%ですが、妊娠六か月以降ならば先天異常の発生の恐れはないとされています。

風疹の免疫(抗体検査)

風疹は、免疫を持っていればかかることはありません。

風疹の免疫の有無は、血液中の抗体を測定する方法(抗体検査)で行われるのが普通です。

ですから、妊娠前か妊娠初期に抗体検査を受けて、免疫のあることを確認しておけば安心です。

また、妊婦が風疹らしい病気にかかったときも抗体検査を受けた方がよいでしょう。

病気の初期(一～三日)と回復期(二～四週間)の二回にわたって血液中の抗体を測定し、風疹にかかったかどうかを判定します。

抗体検査は大学病院などで行っています。

これらのことについては、現在かかっている産婦人科の先生に、相談をしてください。

風疹にかからないために

二十歳以上の大人で、風疹の免疫を保有しているひとは、全国的に見て約八〇%と言われていますし、風疹は患者とかなり密接な接触がないかぎり感染することがないとされていますので、いたずらに恐れる必要はありません。

しかし、妊娠中か妊娠の可能性のあるひとは、幼稚園、小・中学校への不必要な出入りを避けた方がいいでしょう。

なお、風疹のワクチンは、今のところ実施されていません。

その他、風疹についての問合せは、該当する保健所へ。

麹町保健所 ☎212―五〇〇八
神田保健所 ☎291―三六四一

老人医療証

健康保険の加入調査を行います

区内に住む六十五歳以上のおとしよりが、健康保険で医療を受けたとき、自己負担分を区が助成する制度があります。

この医療を受けるために必要な老人医療証は、毎年七月一日に更新されます。

そこで、医療証の交付に先立って健康保険加入状況の調査ハガキを対象者のおとしより全員にお送りしました。

四月十日までに、必ず回答してください。

なお、八月以降に六十五歳になるひとには、誕生日の前月に調査ハガキをお送りします。

また、年度途中で健康保険の異動があるときは、必ず届け出てください。

わからないこと、くわしいことは福祉課老人福祉係まで問合せてください。

敬老入浴券

あなたは利用しますか

区では、区内に住む六十五歳以上のおとしよりで、希望する方に公衆浴場を無料で利用できる「敬老入浴券」を差上げています。

今年も新しい入浴券を対象者に差上げる予定です。

そこで、対象者(明治四十四年七月三十一日以前に生れたひと)に「敬老入浴券」の希望の有無をハガキを送ってお聞きしています。

まだ、回答をしていないひとはなるべく早く、お送りしたハガキで回答してください。

区の財政のしくみ

②特別区税〈その1〉

前回では、千代田区の収入について見てみました。そこでは、収入の中で最も多いのは当区の場合特別区税で収入全体の半分以上を占めていることを説明しました。そこで今回から、その特別区税についてのお話しですが、このことに入る前に、現在の国全体の税体系がどうなっているかを見ておきましょう。

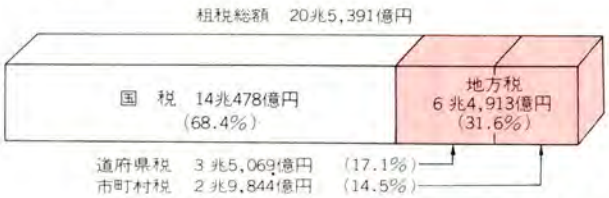
わたしたちの納めている税金は大きく分けて国税と地方税があります。地方税は地方自治体がしごとをするために必要な経費に当てるもので、これには道府県税と市町村税があります。

国税・地方税の税の種類は表①のとおりです。

表①現行税体係（昭和48年度）

国税	地方税	
	道府県税	市町村税
所得税 法人税 相続税 贈与税 酒税 物品税 印紙税 地方道路税 自動車重量税 など	（普通税） 道府県民税（個人・法人） 事業税（個人・法人） 不動産取得税 たばこ消費税 娯楽施設利用税 料理飲食等消費税 自動車税 鉱区税 狩猟免許税 （目的税） 自動車取得税 軽油引取税 入猟税 水利地益税	（普通税） 市町村民税（個人・法人※） 固定資産税※ 軽自動車税 たばこ消費税 電気税・ガス税 鉱産税 木材引取税※ 特別土地保有税※ （目的税） 入湯税※ 都市計画税※ 水利地益税 共同施設税 宅地開発税 国民健康保険税（料）

（注）上の表にある税金の種類のほかに、法定外普通税として、地方自治体は税金の種類を設けることができる。その場合、自治大臣の許可を必要とするが、特別区にあっては都の同意も必要とする。



グラフに示すように、租税の総額は、四十八年度決算で二十兆五、三九一億円、このうち国税が十四兆四七八億円、地方税は六兆四、九一三億円ですから、両者の割合は国税が約七〇%、地方税約三〇%となっており、租税の配分は著しく国に多くなっていることが分かります。

そして、国は、国税として徴収した税のうち、およそ半分に当たる七兆二、一二三億円を、国庫支出金・地方交付税・地方譲与税等として地方自治体に交付しています。

これは、国のしごとを地方自治体が行っているばあいの経費を負担し、また地方自治体相互間に担税力に格差があって、税収のかたよりが生ずるので、その不均衡を是正する意味があります。

グラフで分るように、地方自治体で、租税総額の六五・二%も使用するのに、直接地方自治体の収入となる地方税は三一・六%に過ぎず、あとの三四・六%は国からの交付金ということになっています。

このように、本来地方自治体で必要とする財源の一部を、一旦国が徴収し、国から各地方自治体にふり分けるという方法がとられているわけです。

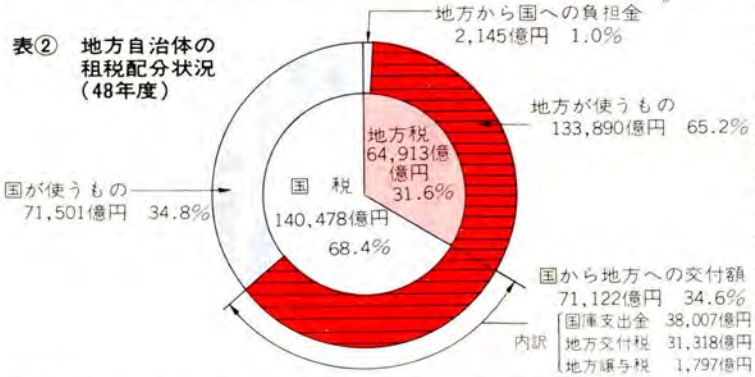
さて、東京都二十三区のばあいですが、表①の地方税のうち原則としては道府県税が都税になり、市町村税にあたるのが特別区税になるところですが、市町村民税の法人分や固定資産税など、※印の税金は、特例として都が課税することになっています。

これは、本来、各区が行わなければならない清掃や消防などのしごとを、都が一括して処理しているからという理由によるもので、都は、これらの税金による収入の一部を、そのようなしごとに当てています。

また同時に、二十三区相互間の税収のかたよりをなくし、財源の均等化をはかるため、都から区に対して交付するお金の財源にも当てているのです。

この制度が「都区財政調整制度」といわれるものです。このことについては、また、後の号で解説しますが、前に述べた、地方自治体に対する国の交付金の制度に似たようなところがあります。

表②　地方自治体の租税配分状況（48年度）



学童保育

放課後に児童館で児童を預ります

区には、西神田・神田・富士見の三つの児童館があり、毎日たくさんのこどもたちが遊びにきています。

それぞれの児童館では、現在「学童保育」の申込みを受付けています。

この学童保育というのは、両親が働いていたりして、こどもが学校から帰っても世話をするひとがいない家庭のこどもを預り、遊びを中心にして学習指導や生活指導を行うものです。

この学童保育を希望するひとは、各児童館に申込んでください。

対　象　区内の小学校に通学する一年生から三年生までの児童（心身に著しい障害のある児童や病気中の児童は除きます）

保育日　児童館開館日（月曜・祝日・年末年始は休館）

保育時間　下校時から午後五時まで

食　事　おやつは用意しますが、給食はありません（学校で給食のないときは、昼食の用意をしてきてください。）

学童保育の申込み・問合せは各児童館へ

西神田児童館　☎294―〇六三一
西神田一―三―四

神田児童館　☎253―六〇二一
神田淡路町二―九

富士見児童館　☎262―一〇四〇
富士見二―三―六

国民年金の保険料が改定されます

四月分から月額千四百円に

国民年金の保険料が、四月分からこれまでの千百円から千四百円になります。ただし、加算年金の保険料（月額四百円）は変りません。

五十一年度第一期分（四、五、六月分）の納付書は、四月上旬にお届けします。

保険料の納入は、金融機関・郵便局・区役所・出張所の窓口で納めてください。

なお、口座振替制度も行っていますのでご利用ください。

くわしいことは、国民年金課検認係まで問合せてください。

戦没者の妻に特別給付金

申請は三月三十一日まで

戦没者の妻にあたるひとに、特別給付金（六十万円国債、十年償還）が支給されています。

申請の期限は三月三十一日までです。つぎに該当するひとは早目に手続きをしてください。

対象となるひと

①第一回特別給付金（二十万円国債、十年償還）を受けたひとで、昭和四十八年四月一日現在、遺族年金または公務扶助料を受けていたひと

②第一回特別給付金を受ける権利のあるひと（昭和十二年七月七日以降に戦死したひとの妻で、昭和三十八年四月一日現在、遺族年金または公務扶助料を受けていたひと）で、昭和四十八年四月一日現在、遺族年金または公務扶助料をうけているひと

なお、わからないことや、くわしいことは福祉課厚生係まで問合せてください。

大気のよごれ二月の数値

○亜硫酸ガス（SO_2）
区役所前……0.03 p.pm

○一酸化炭素（CO）
区役所前（月平均値）……2.1 p.p.m
神保町交差点（8時間平均値）10.5 p.p.m

環境基準
亜硫酸ガス（SO_2）
1日平均値が0.04p.p.m以下
一酸化炭素（CO）
1日平均が10p.p.m以下で
かつ8時間平均が20p.p.m以下

4月の休日診療当番医

4日	日比谷病院	内幸町1-3-2	☎502-7231
	神田司町クリニック	神田司町2-21	☎295-2513
11日	東京警察病院	富士見2－10－41	☎263-1371
	至誠堂医院	神田多町2-6	☎251-2777
18日	飯田橋診療所	飯田橋3-9-6	☎230-1800
	額田内科病院	神田小川町3－28	☎291-0989
29日	井関医院	九段南2-3-26	☎261-3641
	岩本町診療所	岩本町3-4-1	☎851-8643

●診療時間は午前9時から午後5時までです。
●健康保険証は必ずお持ちください。
●休日診療についての問合せは、区役所か出張所へ。

寄付
絵画「追憶の街」プレイデル作
麹町中学校へ
六番町七　友部達夫殿

寄付
ステレオ再生装置一台
小学校音楽鑑賞用として
財団法人音楽鑑賞教育振興会殿

寄付
マッサージ機一台
神田公園区民会館老人娯楽室へ
神田錦町二―五　小川はる殿

寄付
金十八万円
街路樹植樹資金として
東京日比谷ライオンズクラブ殿

青果物消費者サービスデー
4月1日(木)・15日(木)

豚肉の産地直送販売
3月23日(火)・4月9日(金)

魚の消費者サービスデー
3月24日(水)・4月14日(水)

16ミリフィルム 一時貸出中止

千代田区視聴覚ライブラリーでは、三月三十日(火)から四月二日(金)まで、16ミリフィルムの貸出しを一時中止します。

これは、区内の学校や、会社、各種のサークルなどに貸出す、視聴覚資材を最良の状態で利用していただこうと、資材の補修をしたり、また、16ミリフィルムなどは老朽化し易いので、フィルムの洗浄などを行うためです。

なお、視聴覚ライブラリーについての問合せは千代田図書館視聴覚係までどうぞ。

皇居一周 元気で歩こう会

桜のきれいな皇居を歩いて一周し、自分の体力をためしてみようという「みんな元気で歩こう会」が開かれます。

とき　四月四日(日)　午前九時受付開始、九時三十分出発（小雨決行）

集合場所　区役所前

コース　皇居一周（約六キロ）

参加賞　無料

参加賞　先着八百名に差上げます。

参加資格　一般区民

参加方法　当日区役所前の受付で申込んでください。

問合せ　社会教育課体育係

区民ふな釣り大会

とき　四月十一日(日)

ところ　水神・西浦千拓・北浦周辺

対象　区内在住・在勤者

募集人員　百名（先着順）

参加賞　二千二百円（バス代等）

表彰　審査は重量で決定し、二十位まで入賞、その他の賞もあります。

申込み　四月三日(土)までに参加費を添えて社会教育課体育係まで申込んでください。

老人福祉センターの行事

●演芸会

とき　三月二十七日(土)　午後一時から

内容

漫談　三遊亭歌文

講談　神田伯治

紙切り　林家一楽

浪曲　東家幸楽

●講演会

とき　三月三十日(火)　午後二時から

テーマ　「心ゆたかな生活を」

講師　曹洞宗大本山総持寺　多田祖嶽老師

四月の老人のつどい

富士見出張所地区――七日　富士見福祉会館

番町出張所地区――十二日　番町区民会館老人娯楽室

神保町出張所地区――十三日　老人福祉センター集会室

神田公園出張所地区――十七日　神田公園区民会館老人娯楽室

和泉橋出張所地区――十七日　和泉橋区民会館老人娯楽室

時間はいずれの会場も午後一時三十分から四時までです。

春の婦人教養講座

四月下旬に開講

各区民会館では、区内の婦人を対象に、書道、料理、着付、華道などをとり上げて、毎年春と秋に「婦人教養講座」を開催しています。

ことしも、春の婦人教養講座を初心者の婦人を対象に、四月下旬から七月まで開催します。

くわしい日時や講座内容、申込方法は、次号でお知らせします。

四月の野外こども会

五日　平河町(児)　心法寺(児)

六日　錦華公園　西神田公園

七日　佐久間公園　岩本町二丁目(児)

八日　東郷公園　富士見出張所ピロティー

九日　神田公園　錦町(児)

十二日　芳林(児)　淡路公園

十三日　神三(児)　北の丸公園皇宮警察

十四日　築土神社　堀留北(児)

十五日　平河町(児)　心法寺(児)

十六日　錦華公園　西神田公園

十九日　佐久間公園　岩本町二丁目(児)

二十日　東郷公園　富士見出張所ピロティー

二十二日　芳林(児)　淡路公園

二十三日　神三(児)　北の丸公園皇宮警察

二十六日　築土神社　堀留北(児)

二十七日　神田公園

時間は午後二時から、雨天、強風の場合は中止します。

児童館だより

●神田児童館

オペレッタ　三月二十四日(水)

映画とお話の会　三月二十五日(木)

人形劇　三月二十六日(金)

時間はいずれも午後二時三十分から遊戯室で

●西神田児童館

やりたいこと相談会

三月二十七日(土)　午後三時から四時三十分まで。

児童館でやってみたいことなどなんでもいいから話し合おう。

各クラブ員は必ず出席しよう。

●富士見児童館

春休み映画大会　「青い海の冒険」その他

三月二十七日(土)　午後二時三十分から

スポーツ開校(九段中)一時休止

九段中学校で行っているスポーツ開放（毎週火・金曜日の午後六時から九時まで）は、学校の都合により、四月いっぱいお休みします。

保健所だより

麹町保健所（丸の内3-5-1）
☎212－5008
神田保健所（神田錦町3-10）
☎291－3641

三・四か月児健康診査

神田保健所地区の乳児を対象に健康診査を行います。

とき　四月十三日(火)　午後一時から二時三十分まで
ところ　神田保健所
対象　五十年十二月生れの乳児

十八か月児健康診査

神田保健所地区の幼児を対象に健康診査と歯科検診を行います。

とき　四月六日(火)　午後一時から二時三十分まで
ところ　神田保健所
対象　四十九年十月生れの幼児

三歳児健康診査

神田保健所地区の三歳児を対象に健康診査と歯科検診を行います。

とき　四月二十日(火)　午後一時から二時三十分まで
ところ　神田保健所
対象　四十八年四月生れの幼児

母親学級

神田保健所では、初妊婦を対象に母親学級を開きます。

とき　四月五日(月)、十二日(月)、十九日(月)、二十六日(月)　四日間で一コース、時間はいずれも午後一時三十分から三時三十分
ところ　神田保健所

育児学級

麹町保健所地区の乳児のお母さん方を対象に育児学級を開きます。

とき　四月二十二日(木)　午後一時三十分から三時三十分まで
ところ　麹町保健所分室（富士見二―二―十四森山ビル内）
対象　五十年九月と十月生れの乳児をもつ母親

胃の集団検診（無料）

麹町保健所では、三十五歳以上の区民を対象にした胃の集団検診を行います。

とき　四月二十六日(月)　午前九時
ところ　東京都がん検診センター
申込方法　電話で麹町保健所予防課業務係まで申込んでください。
定員　二十五名（先着順）

脳卒中予防のための眼底検査

高血圧がながく続くと、脳動脈硬化が起りやすくなります。脳動脈の硬化は、脳卒中の危険信号です。脳動脈が硬化しているかどうかは、眼底検査を受けることによって、その状態を知ることができます。

そこで、麹町保健所では、脳卒中予防のための眼底検査を行います。

血圧の高いひと、糖尿病のひとは一度、眼底検査を受けましょう。

とき　毎月第一・第三金曜日　午後一時から三時まで
ところ　麹町保健所
対象　希望者
料金　百五十円
申込方法　予約制ですから、希望するひとは、電話で麹町保健所予防課業務係に申込んでください。

肺機能検査（無料）

現在、千代田区は法律で大気汚染地域に指定されています。

大気の汚染などで肺の具合が気になるひとのために、麹町保健所では肺機能検査を行っています。

とき　毎週月・金曜日　午前九時から十時三十分まで
ところ　麹町保健所
対象　希望者
検査内容　肺活量と一秒量（率）

オリエンテーリング
申込みは神田保健所へ

神田保健所衛生協力員会では、神田保健所の後援を得て、オリエンテーリングを実施します。

とき　四月四日(日)　午前八時　神田保健所前出発（雨天の場合は四月十一日(日)）
ところ　埼玉県高麗パーマネントコース
参加資格　神田保健所地区在住・在勤者で小学校五年生以上の二人から五人位のグループ（小学校生だけの参加はできません）
定員　七十名（先着順）
会費　五百円
申込み・問合せ　三月三十一日までに神田保健所普及係に申込んでください。

なお、現地への往復は貸切バスで行い、コンパス、ゼッケン、地図は用意します。昼食、水筒、筆記具は各自で用意してください。

教育相談のご利用を
―相談日は電話で予約を

教育相談室では、幼児から高校生まで、つぎのような教育についての相談に応じています。

・就学、特殊学級入級、進路相談
・学業不振、知能検査
・登校（登園）拒否、友だちとの問題、協調性がない、ものを言わない、乱暴してこまる
・自閉症、夜尿
・その他の教育上の問題

教育、心理、医学の専門家がチームを組んで相談に応じています。

問題の小さなうちに、適切な診断、助言を受けることをおすすめします。

相談をしたいときは、電話で相談日を予約してください。

教育相談室　☎256―八四四六

外濠グランド四月四日から開場

昨年暮から冬期休場していた外濠グランドの野球場（運動場）とテニスコートは、四月四日(木)から開場します。

"緑の羽根"募金に協力を

「緑の羽根」募金運動が四月三十日まで行われています。

この募金運動は、東京に緑をふやそうと行われているもので、集まったお金は、学校や広場などの緑化資金として使われます。区民のみなさんのご協力をお願いします。

千代田区二十九周年に表彰されたひとびと

千代田区二十九周年記念式が三月十五日、千代田区公会堂で行われ、いろいろな分野で区のために功労のあった二百二十九名、十一団体が表彰されました。

また、三月十六日には区内の商店、事務所、工場などで働いている従業員の中から、四百八十七名のひとが、優良従業員として表彰されました。

表彰された各界の功労者（敬称略）

―区政功労者―

千代田区議会議員　水野浦治郎
〃　早川護正
〃　桜井潔
〃　竹内信治
〃　北沢敏
〃　鎌倉勤
〃　中山寛
〃　渡辺孝
〃　野口つた子
〃　持田光太郎
〃　手嶋章
〃　中川孝夫
〃　仙石晴一
選挙管理委員会委員長　小椋正二
法律相談員　堀場直一
〃　鈴木圭一郎
〃　久々湊与一郎
交通相談員　松村英勢治
人権身の上相談員　溝口喜文
〃　藤ノ木伊代
〃　藤村ヤエ
〃　帆刈弘
〃　原田恒男
教育相談員　浅香昭雄
高額寄付者　芳根次朗
〃　立岩邦男
〃　高橋貞之助
〃　村田照子
〃　友部遠夫
〃　川村久
神田小学校創立百周年記念事業協賛会　サンローゼ赤坂テナント会
〃　高橋敬子
〃　谷澤清吉
〃　長島敬二
旅籠町会長　小要利雄
千代田区東部町会連合会会長　渡辺武次郎
大手丸の内町会長　木村義一
九段南北二丁目町会長　小林幹知
神保町一丁目町会長　坂田彌太郎
錦町二丁目町会副会長　坂西秀雄
神台町会長　加嶋光三
岩本二松枝町会長　樋口秀康
九段南北二丁目町会副会長　佐藤君江
神保町地区町会連合会副会長　岡山準平
神田錦町三丁目町会副会長　新井照
淡路町二丁目町会長　八尾光治
紺屋町会（南）副会長　大矢効三
平河町二丁目町会長　南山金太郎
九段二丁目町会副会長　古澤正義
神保町三丁目町会長　長野四郎
錦町三丁目町会副会長　根本徳造
外神田六丁目町会長　小林敬次
鍛冶町一丁目町会副会長　今越栄佐
二番町町会長　清水善次
富士見二丁目町会副会長　桑原慶一
小川町北部二丁目町会副会長　和田輝
金沢町会長　山内武彦
東神田町会副会長　吉野勝治
富士見二丁目町会副会長　高梨信一
小川町北部二丁目町会防火防犯部長　前場次郎
和泉町会副会長　町田連平
富士見一丁目町会副会長　太田吾一
小川町三丁目西町会厚生部長　木邑達司
岩本町二丁目大和町会副会長　三浦勲
飯田橋町会副会長　山本四郎
松永町会副会長　石井貴久藏

―町会自治功労者―

番町出張所地区連合町会長　西村宏一
富士見二丁目町会長　若月義忠
元西神田町会長　福島敬三
小川町一丁目南部町会副会長　松本義孝
旅籠町会長　長島敬二
千代田区東部町会連合会会長　小要利雄
大手丸の内町会長　渡辺武次郎
九段南北二丁目町会長　木村義一
神保町一丁目町会長　小林幹知
錦町二丁目町会副会長　坂田彌太郎
今川小学校内科医　丸山萬
番町麹町永田町小学校眼科医　河本純一
麹町小学校薬剤師　都築喜市
番町小学校内科医　小林泰而
神田小・今川中学校耳鼻咽喉科医　後藤博一
西神田小学校歯科医　伊東健蔵
佐久間小学校薬剤師　持田豊

―教育功労者―

〔学校保健衛生〕

富士見小学校歯科医　森野武夫
錦華小学校薬剤師　永山芳男
錦華小学校歯科医　三浦虎雄
一橋中学校内科医　山田丈夫
今川小学校内科医　丸山萬
番町麹町永田町小学校眼科医　河本純一
前千代田区少年少女団体指導者連絡協議会会長　前田恒夫
〃　相沢双二郎
青少年委員　瀧正雄
〃　竹内昱枝
〃　三輪瑛子
〃　村田芳三

〔社会教育〕

千代田区海洋少年団事務局長　高野武
千代田区海洋少年団教官　菅沼清
和裁講師　森田嘉織
自主婦人学習グループ代表　三橋登喜枝
絵画講座指導　能仲八雄
〃　依田邦子

〔社会体育〕

体育協会副会長　隠岐孝治郎
体育指導委員　宮崎いづみ
千代田クレー射撃連盟会長　小池国士
千代田区相撲連盟副会長　石橋賢治
千代田庭球連盟副理事長　神田茂
千代田区庭球連盟理事長　佐藤旭
千代田区レクリエーション協会副理事長　久保勝

〔私学振興〕

各種学校協会監事　三上晃佑
各種学校協会理事　合原たつ子

―商工観光功労者―

千代田区商店街連合会常任理事　中沢宏
千代田区商店街連合会理事　鈴木信三
千代田区商店街連合会副会長　大塚健次
〃　青木寅吉
千代田区工業団体連合会理事　青柳亮平
千代田区工業団体連合会顧問　上野金太郎
神田紳士服専門店組合理事長　田草川照友
東京都青果物商業協同組合麹町支部長　河原一義
東京都青果物商業協同組合神田支部長　笠井芳二
東京都食肉環境衛生同業組合麹町支部長　吉野大
東京都食肉環境衛生同業組合神田支部長　天井甚吉
東京都魚商業協同組合麹町支部長　横江喜一郎
東京都魚商業協同組合神田支部長　上田日出夫
東京都米穀小売商業組合千代田支部長　高橋新太郎
千代田区観光協会副会長　東京紳士服工業組合　増田一治

―社会福祉功労者―

麹町地区青少年補導連絡会会長　大島義愛
丸の内地区青少年補導連絡会副会長　大塚孝吉
民生・児童委員　渡辺喜一郎
〃　加賀あい
〃　名古路ゆき江
〃　福田シナ
〃　保科孝一
〃　中山菊次郎
〃　福原福次郎
〃　新村長次郎
千代田区社会福祉協議会副会長　水野カキワ
東京都精神薄弱者相談員　吉田聖一
千代田区保護司　牧多満
〃　藤ノ木伊代
千代田区更生保護婦人会理事　湯浅初子
〃　夏目ヒサ
老人相談員　布村と志
〃　鈴木町子
〃　中田廣之
〃　井上百合子
〃　斉藤サト
〃　秋山タマ
神田保育園嘱託医　大塩亮
麹町保育園嘱託医　永井東一
身体障害者更正者　小原繁雄
〃　鈴木ミトリ
岩本町二丁目日曜児童遊園連合会

―環境美化功労者―

柏木良之助　三崎町町会

（駅北口区画整理事業少女消防隊指導者連絡協議会会長代理事）

―事務事業協力功労者―

統計調査事務協力者　木村義一
〃　加藤茂雄
〃　竹内忠平
〃　豊島新太郎
〃　諸井武二郎
〃　高橋蔵男
〃　松岡勇作
〃　西角清忠
〃　高井盛三郎
選挙事務協力者　松本秀三
〃　高井米昨
〃　福田シナ
〃　柴田のぶ

―納税功労者―

神田協和納税貯蓄組合長　持田光太郎
麹町連合会納税貯蓄組合長　元芳正雄
錦町一丁目納税貯蓄組合長　佐野光男
神田建築納税貯蓄組合長　中山菊次郎
神保町二丁目納税貯蓄組合長　大山尊宗
神田市場青果卸売納税貯蓄組合
麹町四丁目納税貯蓄組合
小川町三丁目西部納税貯蓄組合
大神宮通り　商連納税貯蓄組合
靖国通り　神田美容納税貯蓄組合
神田青色第一地区納税貯蓄組合

―保健衛生功労者―

小川町北部二丁目町会厚生部長　横田喜助
外神田二丁目松住会厚生衛生部長　飯塚喜平
外神田三丁目来宮会衛生部長　久郷英夫
神保町二丁目町会厚生部長　吉元シズ
飯田橋町会保健衛生部長　茂木林治郎

―消防団功労者―

丸の内消防団員　府川雄次
麹町消防団員　小林定

優良従業員表彰式（敬称略）

（株）伊藤幹
九段三業会
ナガイ医療器（株）
駿河台ホテル
浜屋商店
（株）第一洋服
（株）神田テーラー
〃
（有）興生堂薬局
（有）河合徳蔵商店

能島運輸（株）
小幡梱包運輸（株）
（株）山屋運輸
三崎運送（株）
手島梱包輸送（株）

（株）高木運送店
出版輸送（株）
（株）イーグル
トーメンアパレル（株）
（株）ベビー
（株）牧野ニット
（株）丸備商会
（株）弥助
（株）三星事務服
（株）オーカワ
田代屋塗料（株）

（株）豊盛堂
共和運送（株）
共立運輸（株）
丸善石油東日本販売事業協同組合
早川運輸（株）
（株）日本運搬社
共立運輸（株）
国際空輸（株）
東京たばこ配送（株）
（株）吉安運輸
協進電機（株）

（株）石坂善新堂
〃
〃
〃

佐藤春次　(有)望月印刷所
笹倉鉄造　ホッタ印刷(株)
増橋保宏　長野印刷(株)
佐藤保　米山印刷(株)
望月久枝　〃
田渕豊　金正印刷(株)
中塚正樹　(有)西田製版所
斎藤斉豊　東京都印刷工業組合千代田支部
新井豊春　〃
滝沢かつ代　塚田印刷(株)
久保木一三　河合徳蔵商店
奥住輝男　(有)玉川堂
海老要珖　(資)高山本店
工藤勝見　(株)山陽堂書店
松島綾子　(株)一不二
伊沢秀春　大平山酒蔵
佐々木義子　カッパ中華料理
飯島喜一　(有)奈可や
中根忠一　(有)みどりや洋服店
北隅誠造　(有)やぶ仙
横山信義　いろは鮨総本店
江川憲三　(株)宇治茶園
櫛田きく枝　(株)文秀堂
黒瀬憲之進　里水
柴田秀治　(有)レモン
遠藤雅克　満る賀
浅見実　九段温泉
土屋梅雄　(株)丸十
江原金次　水勝飯田橋店
大隅よし子　ステーキハウスおかの
田中好実　野坂運送(有)
高山雅嗣　(株)増辰のり店
石川新蔵　フジ食堂
荻原進　ウメザワ靴店
小井土健二　大黒屋酒店
磯崎浩　(有)阿づ満家
根本博正　ぼっぽ
宮沢朝春　チヨダレストラン(株)

岸山三男　チヨダレストラン(株)
飯塚三代三　(株)高田眼鏡店
荻原茂　(有)志げ多
橘丈夫　(株)まいづる
堀越敏子　(有)志げ多
早坂昭夫　島将物産(株)
青木清　〃
日隈和代　〃
新田清子　〃
安藤浩太郎　〃
稲川安雄　〃
小田カズ子　(株)まいづる
山川洋一　島将物産(株)
渥美洋司　(株)栃木屋
三谷一二　〃
中村トシ　布袋食堂
和合清司　(株)花月食堂
南行子　(株)明治屋関東支店丸ビルストアー
相羽和子　(株)ニッケショール―ム東京店
佐野廣　(株)深川陶器店
宮本吉貞　(株)高田巳之助商店
七條国忠　〃
大平紀代子　(株)明治屋関東支店丸ビルストアー
伊東勝太郎　(資)森松運送
岩渕文生　(株)高田巳之助商店
朝倉章江　〃
森住政子　〃
新井三郎　〃
河野敏夫　〃
梶間信一　(資)森松運送
後藤徹也　〃
渡辺英幸　布袋食堂
伊藤千瑛子　(株)明治屋関東支店丸ビルストアー
森田ゆり子　(株)新丸之内会館
竹内朝子　(資)森松運送
遠山つる　(株)文明堂丸ビル店
市原文代　(株)明治屋関東支店丸ビルストアー
飯島鴻一郎　布袋食堂

石本岩司　(株)文明堂丸ビル店
鴨井隆　布袋食堂
五十嵐光雄　(株)文明堂丸ビル店
河井知恵子　布袋食堂
田中充子　(株)富士商会
木村秀男　(株)糸紅
佐藤善雄　〃
坂井保侶　〃
結城一男　三幸商事(株)
相原国勝　〃
梅園信治　〃
飯澤玲子　〃
小椋寛　〃
権代書子　(株)錦町食堂
渡辺茂　〃
剣持健　(株)日本シネフィルム研究所
沢田勇右衛門　新聞写真製版(株)
露木文男　全日通労働組合
山本武夫　西川酒店
本間礼子　鈴木コーヒー店
清水清　日本建設(株)
窪谷登　(株)鈴木組
松下隆　金子理髪店
貴俵登　(有)協和クリーニング商会
小野勲　玉柳寿司
吉野義晴　九段南北一丁目町会
木内春男　田賀理髪店
堀田修二　桔梗屋電機
東山満　(株)佐藤工業所
藤原正義　(株)東京鈴木製作所
富山甚太郎　(有)いづみ工芸社
唐沢芳子　日本徽章商会
赤穂稔雄　(株)市川モータース
那山きくの　葉山印刷(有)
土屋市郎　奥野書店
浅倉勝　京城園
松島和夫　(株)文苑堂東京店
松延みよ子　(株)日向商店

川崎トヨ子　(株)横田製作所
春日井収　(株)日照堂
四宮陽子　永井衣料(株)
菊地栄子　新雅
寺田タツ　〃
伊藤咲　(株)セントラルモータース
栗原正雄　神保興産(株)
早乙女昌弘　(有)みどりや洋服店
下村耕右　(有)久原商店
竹内景子　シンノオル電機(株)
大熊康　〃
吉田裕紀　(株)広栄社
千田貢　角地運輸(株)
吉井秀一　(株)紙業日日新聞社
石川博　神田千代寿司
会津怒子　(有)池田屋
田島進　(有)栗原螺子製作所
藤田忠一　福井自動車(株)
田中久子　世紀産業(株)
千葉幸夫　(株)鈴木歯科商会
半坂茂　辰巳不動産(株)
米山寛　(株)平野商会
斉藤洋子　(株)鈴木製作所
河田雅春　(有)志村商店
千葉良光　鈴木商工(株)
和木実　山上ベルト工業(株)
伊東國次郎　(株)飯塚カンパニー
星野喜双児　中秀(株)
島袋真利子　大五(株)
板倉安之亟　中秀(株)
木村忠士　(有)今井モータース
栗原清　(株)赤塚弥商店
中岡浩三　(株)金子商店
大和田一　村井電気(株)
安達昭一　〃
新井貞子　(株)山忠商店
小林武男　(株)深津
雨宮うた子

芳沢芳枝
山岸実男
佐久間由子
山崎譲二
坂東よその
田畑貢
鈴木誠市
石塚政夫
久保埜政春
磯部富美枝
深澤修平
村田敏夫
前田一明
高野照夫
河原木勝弘
脇谷二朗
前川智明
石山正廣
石川幸次
鈴木幸人
楠本栄子
黒坂征二
野地秀夫
安田仁一
市川照男
水野元三郎
渡辺明宏
清水登
永松昭生
悴田正男
相沢澄夫
赤塚義政
田村孔夫
毛利由成
羽賀富子
松木正弘
上野勇